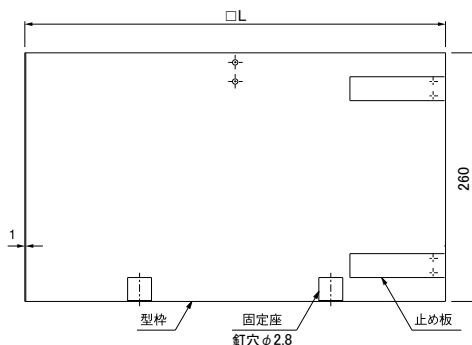
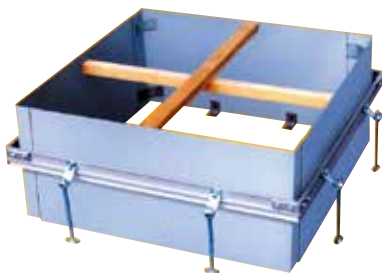


HK2



●特長

1. フローハッチをスラブコンクリートと同時に打込する場合の型枠として最適です。
2. スラブ厚200mmまで対応。

●適用機種

◆貼物用

H-7, H-7L, H-7-N	9-8
H-2, H-2L	9-8
MKP-7S, MKP-7S-N	9-9

◆充填用

H-8, H-8L, H-8-N	9-10
H-4, H-4L	9-10
MKP-8S, MKP-8S-N	9-11

●寸法表

ハッチの寸法	型式	L mm	質量 kg
350	HK2-3526	290	3
450	HK2-4526	390	4
500	HK2-5026	440	5
600	HK2-6026	540	6

●木スペーサー長さ

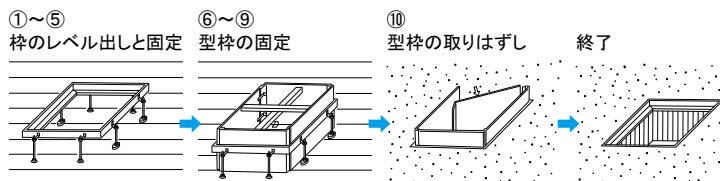
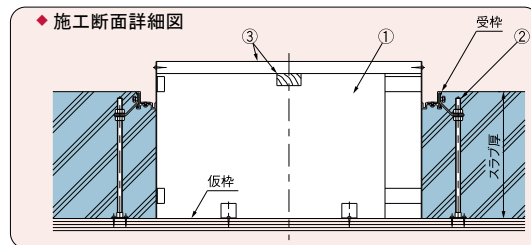
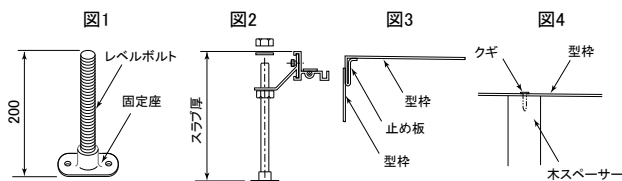
ハッチの寸法	ハッチの種類	
	MKP, H-2, H-7	H-4, H-8
450	400 mm	425 mm切断なし
500	450 mm	475 mm切断なし
600	550 mm	575 mm切断なし

●部品表

No	部品名	材質	備考
①	打込型枠	SEHC	—
②	レベルボルト	SS400	電気垂鉛めっき
③	木スペーサー	木	—

●施工手順

- ① 枠にアンカーを取り付ける。(レベルボルト固定部が水平になるように)
- ② 各レベルボルト(図1)にナットと座金を1組ずつ入れ、固定座と座金までの寸法を出す。(図2)
- ③ 枠のアンカー切込にレベルボルトを差し込み、残る1組のナットと座金で固定する。(図2)
- ④ 枠を取付位置に置き、蓋をセットして内目地(枠)と外目地(枠)の間にL型スペーサーを挿入する。
- ⑤ 固定座の孔にクギを打ち込み仮枠に固定し、枠の取付レベルを確認する。
- ⑥ 蓋を外し、4分割された打込型枠を枠の各辺に合わせ、止め板を折り曲げる。(図3)
- ⑦ 打込型枠の固定孔にクギを打ち込み、型枠と仮枠を固定する。
- ⑧ 木スペーサーを指定長さに切り、十字にクギで型枠に固定する。(図4)
- ⑨ レベルボルトがナットの上面より出過ぎた場合は、余分な部分をワイヤーカッター等で切断する。
- ⑩ コンクリートを打ち、施工終了後型枠を外す。(仕上材がある場合は仕上げレベルに注意する)

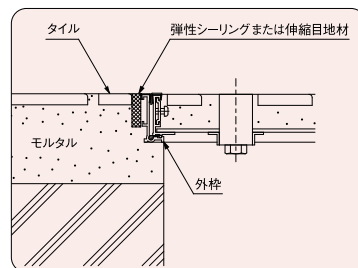


フローハッチの施工手順例

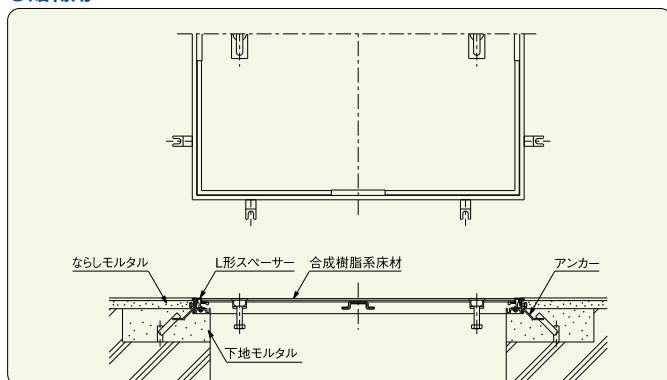
1. 付属のアンカーを外枠に取り付けます。
2. ふたを外枠にセットします。この時、下地モルタル施工時に生じる枠の変形を防ぐL型スペーサーを内目地と外目地の間に必ず挿入してください。
3. アンカーがスラブコンクリートにあたる場合その部分をはつてください。
4. レベル出し(高さおよび水平調節)をして、溶接用アンカーを打ち込み、受枠のアンカーを溶接してください。
5. 下地モルタル上部は床タイルを貼りつける厚みを残して、金ゴテで仕上げます。
6. フローハッチに床タイルを貼る時は前後左右の床タイル目地と一いたすように貼りつけてください。(取手部分は切欠きのこと)
7. 施工が完了しましたら、竣工まで、フローハッチ全面を保護板(養生板・シート等)でおおってください。

注1) テラゾー研ぎ出しの場合は、テラゾー上面をフローハッチの目地上端よりやや高く施工し、目地および取手の水平を合わせて研ぎ出してください。

注2) 外枠の外周は右図のように弾性シーリングまたは伸縮目地材で施工してください。



●貼物用



●充填用

